

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	家庭教育・子育てサポート事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4704	所属長名	山岡慎司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	石崎恵美	
法令根拠等	教育基本法、社会教育法、社会教育基本方針、伊予市家庭教育・子育てサポートグループ設置要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 23 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 次代を担う子供たちの育成支援					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	次代を担う子供たちの育成支援						
事業の対象	伊予市在住の幼児・児童・保護者			事業の目的	核家族化、ひとり親家庭や共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化等を背景として家庭教育を支える環境が大きく変化する中、子育てに悩みや不安を抱えている保護者も存在し、社会全体で家庭教育支援の必要性が高まっており、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができることを目的とし、伊予市家庭教育・子育てサポートグループを立ち上げ、支援活動を実施する。		
事業の内容 (整備内容)	①保護者の「学び」と「育ち」に関する学習機会の提供②家庭教育情報誌の発行による、情報提供③保護者等への地域の居場所づくり			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	595	808	0	0	0	718	育児相談・学習会回数	回	13	13	9	16
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	340	388	0	0	0	340						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	255	420	0	0	0	378						
職員の人工(にんく)数	0.20	0.22				0.22						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	2,191	2,566				2,476						
主な実施主体	伊予市家庭教育・子育てサポートグループスタッフにより実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					600	600	600	600	600	3,000		
成果指標	指標	伊予市内での育児相談・学習会の回数			単位	⇒	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標 毎年度	
	指標設定の考え方	伊予市内の保育所・幼稚園・小学校等の保護者参観日などを活用した学習会、公民館事業と連携した学習会等を計画、実施し、その回数により市内保護者の家庭教育を支援できたと考え、成果とする。					目標	13	13	13	13	
	指標で表せない効果	家庭教育を支える環境が大きく変化している中、伊予市家庭教育・子育てサポートグループを運営することにより市民に社会全体で家庭教育を支えることの重要性を浸透させる効果がある。					実績	13	16			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		時代の移り変わりにより、保護者の意識が変化しており、グループ相談は敬遠される傾向にある。										
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	保護者の「学び」と「育ち」に関する学習機会の提供について、保育所参観日を活用することができた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげることができている。	3							
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B	事業の方向性	公民館で実施している家庭教育学級といった保護者の気づきのきっかけになる学習会の開催が少なくなっている。			
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A			事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li>□ 事業縮小と判断する</li> <li>□ 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 人口減少・少子高齢化・核家族等による家庭及び地域のつながりが希薄化してきたことに伴い、子育てについての相談や学習の機会を提供することは、重要な家庭教育支援で継続実施が必要。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3								
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	所屬長の課題認識	継続して子ども総合センターや関係機関との連携を密に、効率的な事業展開ときめ細やかな家庭教育支援に努める。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	